

大人がモデル

小さいとき、母がりんごや柿の皮をクルクルと剥いてくれる手やゴボウの笹がき、穂先を直角に当てて里芋の皮を剥く包丁使いを良く見たものです。母の包丁を扱う手は、魔法のようなのを覚えています。そして私も母のようにはいかずとも子ども達に「お母さんすごいね！」と言われるまでになりました。父や祖父は、りんごを素手で2つに割って食べさせてくれたり、正に一刀両断の薪割は、幼い私達姉弟にとって憧れでした。

令和の今、家庭でそのような光景を見ることは少ないのではないのでしょうか。朝、焚火をするときに、焚き物をのこぎりなどを使わずに、膝で割ったり、切り目だけを入れて足で踏んで割ると子ども達は、歓声を上げて褒めてくれます。実は、これは私なりの意味があって、道具が無くとも焚き物を割る方法をあえて子ども達に見せています。

谷頭こども園では、包丁やのこぎり、金槌、段ボールカッターなどを使える環境を整えています。大人が刃物を安全に扱うところを目の当たりにして、子どもはその技術を自分のものにします。油断すると指を切ってしまうことも経験します。出血してびっくりする子どももいますが、泣く子どもはほとんどいません。

人にハサミや包丁などを渡す時、穂先は自分に、相手には柄を向けて丁寧に渡す。その都度職員が示しています。刃物は人に向けて威嚇したり、人を傷つけたりするものではないことを学んでいきます。火もそうです。暖かさや癒しを感じたり、うっかりすると火の粉が飛んできたり、炎が立ち上がりヒヤリとすることも有ります。毎日の焚き火を囲みながら火の便利さや怖さを体得していきます。幼い時に、このような経験をする事は、生活の知恵や知識をつけると同時に、人を平気で殺めることや好奇心で火遊びをすることなどから遠ざけてくれると思います。私達大人が道具を正しく使い、モデルを示すことは、子ども達のこれからの生きる力に、大きな影響を与えることを意識し、より本物に近い環境を作っていきます。

親の手を放すチャンスです！

卒園、進級まで3ヶ月を切りました。新しい年を迎え、数え年と言えば、みんな一つずつ大きくなったこととなります。1年のうちに、親の手を放す機会が何回かあります。それは正月明けの今。進級進学目前の3月、園では、「もうすぐ〇〇組」「もうすぐ一年生」の言葉が多くなる時期です。そして、心機一転の4月。自分の誕生日。こうして見るときっかけとなる時期が何回かあります。期を逃がさず、朝の準備や帰りの身支度などを任せてみましょう(年齢による差異は考慮します)。車から降りたらリュックを背負わせ、子どもの持ち物の処理を促したり見守ったり…。そして必ず誉めてください。大人に認められることは自信になります。帰りも同じです。子ども達が自分の荷物を持つように働きかけましょう。親がした方が早いかもしれませんが、ここでじっと「待つ！」ことが生活習慣の自立のきっかけになります。帰ったらリュックの中の物を決まった所に出させてみるのも良いですね。そのようにされているところもあるかもしれません。5歳児(すみれ)さんは、これが一年生になる準備です。

繭の餅を作りました。

「繭の餅」と書いて『めのもち』と言います。1月15日の小正月にヤナギやエノキの枝に、紅白の餅や栗餅(黄)、蓬餅(緑)を飾り、田の神様や神社、仏壇などにお供えし、五穀豊穡や無病息災などを祈願する伝統行事です。日本各地で行われているようです。昔は養蚕が重要な産業だったことからお蚕さんが作る繭を餅に見立て木の枝に刺したと伝わっています。都城地域では、方言で『めのもち』と呼びます。高崎では、毎年1月の恒例行事でしたから谷頭でも作ってみました。4色の餅を枝に飾りながら初めて作る、繭の餅に興味津々の子ども達でした。焼き鳥や串団子になった子どももいましたが、そこはご愛敬。ご家庭の玄関などにどうぞ…。春を告げる春雷がなったらあられにして食べる風習もありますが、節分の頃までは飾ってください。

わたくしごとですが…。

先日、長男の成人式に参加しました。生まれた時の喜びや目に見える成長、思春期の悩みや葛藤…。様々なことが思い出され感慨深い一日になりました。子育てにおける最大限の親のつとめは、『精神的にも経済的にも親から独立して生活できる力をつけること』だと思います。もうこの子は、親がいなくても生活できるはずです。第二のステージを自分自身の力で歩けとエールを送ることでした。一方で、事故や病気、震災などで親子の縁が絶たれてしまわれた方がたくさんいらっしゃいます。子どもの成長を見ることなく亡くなった方々を思う時、今日のこの日を迎えられることは、当たり前ではないことを痛感します。親子共々、謙虚な気持ちを忘れずに、これまでに関わって下さった方に感謝の思いでした。

コロナが猛威を振るっています。

PCR検査を受けることになった、職場や家族に濃厚接触者がいる、あるいは濃厚接触者になりそうな場合は、園にご連絡下さい。念のため子どもさんのお休みをお願いします。この場合、**秘密は厳守します**。園の関係者から感染あるいは、濃厚接触者が出た場合は、保健所の指示を仰ぐことになります。誰もが感染してもおかしくありません。**罹患された方にもプライバシーがあります**。身近で起こると詮索しがちですが、互いに節度ある行動をとりましょう。基本的な対応や連絡はこれまで通りです。

7:00~18:30 くらいは 64-1051 (谷頭こども園)
お休みの日や夜は、 (金丸)にご連絡願います。

登園自粛の要請は、今のところありません。互いに不要不急の外出をひかえ感染から子ども達を守りましょう。お仕事が終わる次第のお迎えや土曜日にお仕事がお休みのところではご協力ください。職員も定時で退勤いたします。ご了承願います。(当番の職員は対応します。)